

National Police Agency

警察庁2026



【採用に関するお問い合わせ先】

警察庁長官官房人事課

東京都千代田区霞が関 2-1-2
03-3581-0141 (内線2632)

E-mail : jinji@npa.go.jp

警察庁採用 HP



警察庁警察官 (スペシャリスト候補) 採用案内

國家公務員採用一般職試驗

大卒程度・全区分

本省庁採用



今、警察には大胆なイノベーションが求められています。

技術革新や社会経済情勢の変化に伴って新たな治安課題が生じる中、警察が国民の期待に応え、その責務を果たし続けるためには、絶えず警察活動を高度化し続けなければなりません。

さらに、将来の社会状況の変化を踏まえた先端技術の活用によって業務プロセスを着実に改善するとともに、警察組織の構造改革を計画的に進める必要があります。

一方で、警察職員としての基本は決して変わりません。それは、国民の生命・身体・財産を守るという社会にとって不可欠な責務を担っていることへの「誇り」と「使命感」です。

今、警察庁は待っています。社会の変化を予測する先見性、イノベーションを創出する発想力、それを具体化する実行力、そして揺るぎない正義感と豊かな人間性にあふれる皆さんを。

警察庁長官

楠 芳伸

警察庁警察官（スペシャリスト候補） ～私たちのミッション～

「当たり前の日常を守る」

警察庁では、国家公務員採用一般職試験（大卒程度・全区分）の合格者から、警察行政の各専門分野において「治安のスペシャリスト」たる人材を育成するため、スペシャリスト候補警察官を採用しています。

スペシャリスト候補警察官は、それぞれの専門分野において、警察庁と都道府県警察の双方で勤務していくことで、高度の専門性を有する「治安のスペシャリスト」として育成され、都道府県警察の現場の実情を踏まえた、地に足の着いた政策を実現していくという明確なミッションが付与されています。



Contents

第1部 組織紹介

警察機構図	5
各局紹介	
生活安全局	7
刑事局・組織犯罪対策部	9
交通局	11
警備局・外事情報部・警備運用部	13
サイバー警察局	15

第2部 キャリアステップ

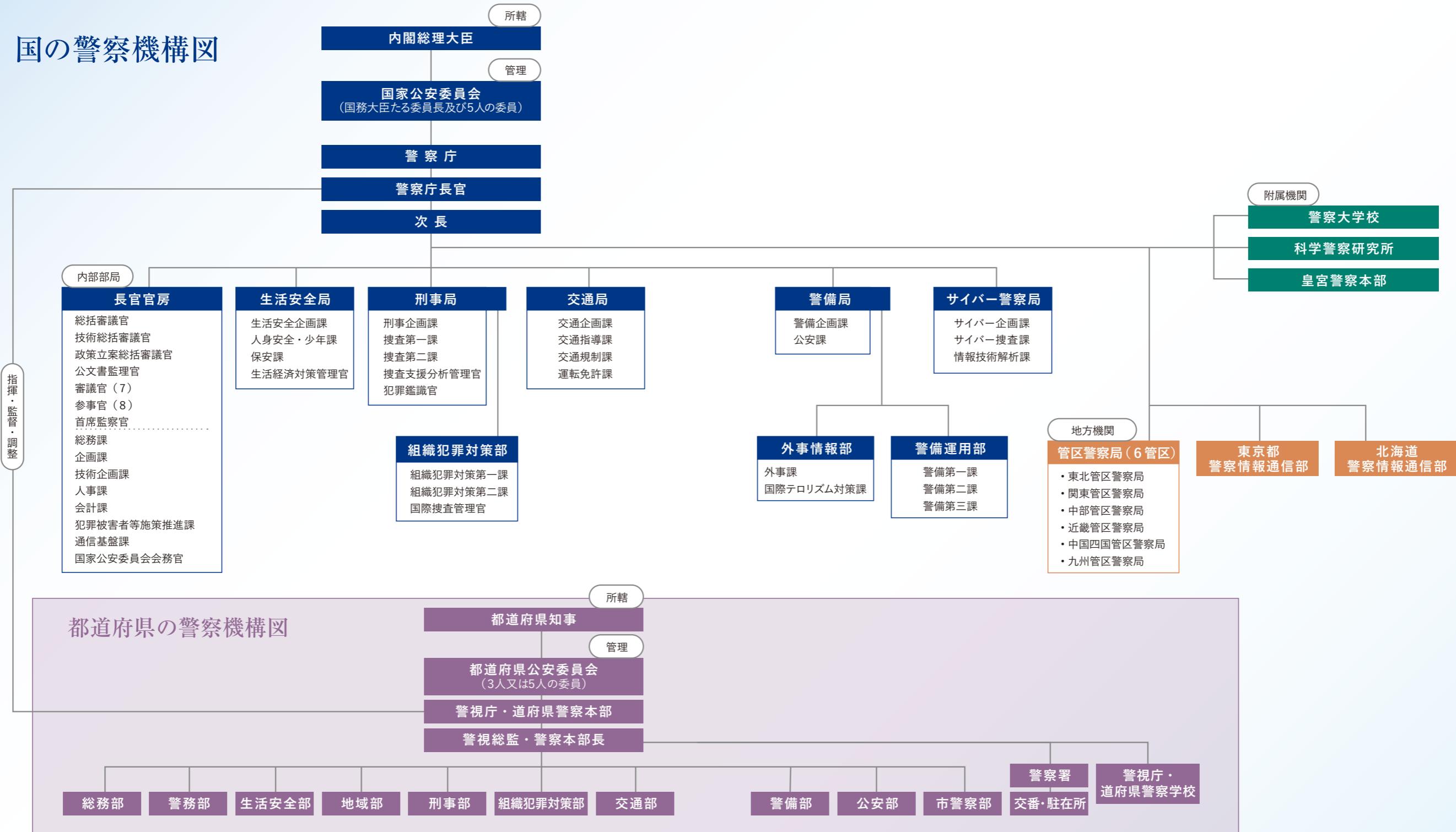
キャリアステップ	17
現場のストーリー	19
活躍のフィールド	21

第3部 特集

研修制度、ワークライフバランス	29
警察学校	31
海外留学	32
子育て中の職員に対するインタビュー	33
警察庁係長の1日	34
若手職員Q&A	35
採用Q&A	37

警察機構図

国の警察機構図



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりましたが、その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO(国際刑事警察機構)への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行ってています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任せられています。警察庁は、全国警察組織の中核を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

生活安全局

Community Safety Bureau



生活経済対策管理官付理事官

Profile

平成6年 入庁
平成19年 警察庁長官官房国際課付
平成22年 栃木県警察本部刑事部
組織犯罪対策課長
平成23年 法務省入国管理局入国在留課
法務専門職
平成25年 警察庁刑事局組織犯罪対策部
薬物銃器対策課課長補佐
平成26年 警察庁刑事局組織犯罪対策部
組織犯罪対策企画課課長補佐
(内閣官房副長官補付)
平成28年 警察庁生活安全局少年課課長補佐
平成30年 警察庁長官官房国家公安委員会
会務官付補佐官
令和2年 高知県警察本部警務部長
令和4年 警察庁刑事局犯罪鑑識官付
DNA型鑑識官
令和5年 警察政策研究センター主任教授
令和6年 警察庁生活安全局生活経済対策
管理官付理事官
令和7年 警察庁刑事局組織犯罪対策部調査官

様々な課題への対応

人々が安心を感じ、実際に安全である社会…
生活安全局では、これを実現するために様々な
施策に取り組み、治安上の課題に対処するため
に奮闘しています。

取り扱う課題は、防犯対策や少年の非行防止
対策をはじめ、児童虐待、ストーカー・DV事案、
悪質商法など幅広く、最近では、悪質ホストクラ
ブやオンラインカジノの問題への対応もあります。

多様な視点と経験

警察庁では、課題を的確に把握し、都道府県
警察、関係する省庁や民間団体等と連携して検討
を重ねながら施策を企画、立案していきます。ま
た、子供の性被害や著作権侵害事犯への対策な
ど、海外の機関との連携が重要なものもあり、活
躍の場は広がっています。



生活安全企画課

犯罪の起きにくい社会へ

地域住民の安全安心を脅かす犯罪の抑止対策、犯罪被害に遭い
にくい安全安心なまちづくりの推進、警備業・古物営業等の適正化
等、市民生活の安全と平穏の確保、犯罪の予防に関する事務や交番・
駐在所を拠点とした地域警察官の活動等に関する事務を行っています。

人身安全・少年課

人々の命とこどもたちの未来を守るために

人身の安全を早急に確保する必要のあるストーカー、DV、児童虐
待等への対策に関する事務や、少年の非行や犯罪被害の厳しい情
勢を踏まえた、少年事件の捜査体制の充実・強化等の少年非行防
止対策、児童ポルノの製造等の子供の性被害に係る対策に関する
事務等を行っています。

保安課

良好な生活環境の保持のために

風俗営業の適正化、銃砲等及び刀剣類・危険物の規制等の行政
事務に加え、売春・人身取引関係事犯や賭博等の風俗関係事犯の
取締り等に関する事務を行っています。

生活経済対策管理官

日常生活を脅かす犯罪から国民を救う

生活経済事犯（利殖勸誘事犯等の悪質商法、ヤミ金融事犯、食
の安全に係る事犯、保健衛生事犯、環境事犯、知的財産権侵害事
犯等）の取締り等に関する事務を行っています。

「幅広い手法で 市民生活の安全と平穏を守る」

保安課係長 [平成31年入庁]

以前、性犯罪に関する刑法の改正や撮影罪の新設が行われた際、私は生活安全企画課において、各都道府県警察の担当者からの質疑応答など施行後の運用に関する業務を担当しました。その後、私が県警に出向した際、当時の担当者と関わる機会がありました。その担当者から「撮影罪の運用について情報提供するだけでなく、一緒に運用方法を考えて下さり助かりました」と言っていただき、現場の警察官の役に立てたことを実感し、やりがいを感じました。

生活安全局の業務の魅力は、一つの事案に対して、様々な角度から対応ができることがあります。例えば、一口に痴漢・盗撮対策と言っても、撮影罪の新設を始めとする法制度面からのアプローチだけでなく、防犯面では制服警察官によるパトロール強化、痴漢撲滅に向けた機運を醸成するための広報啓発活動、事件面では私服警察官による取締りの強化、被害者の負担軽減に配意した聴取などがあり、業務が多岐にわたります。

生活安全局の業務は、社会のあらゆる事象に関連しており、新たに発生する課題に、幅広い手法を用いて対応するためには、社会の動きにアンテナを張ることが重要だと感じています。

Message

幼い頃から憧れを持っていた「警察官」の役に立っている
と思うと、今でもやりがいを持って働けています。ぜひ選択肢の一つに考えてみてください。

刑事局

Criminal Affairs Bureau



国際捜査管理官付課長補佐

Profile

平成17年 入府
平成31年 警察庁刑事局組織犯罪対策部
暴力団対策課付
株式会社みずほ銀行(出向)
令和3年 警察庁刑事局組織犯罪対策部
暴力団対策課付
令和4年 鹿児島県警察本部刑事部
捜査第二課長
令和5年 警察庁刑事局組織犯罪対策部
国際捜査管理官付課長補佐

刑事局とは

闇バイト強盗と称される強盗事件の発生や、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害の増加、匿名・流動型犯罪グループの台頭など、犯罪の悪質・巧妙化は絶えることなく、また、犯罪者の組織化・匿名化が進んでいます。

このような強盗や詐欺といった事件の捜査を直接行うのは都道府県警察の役割ですが、刑事局においては、捜査が適正かつ効果的に行われるよう、捜査に関する施策の企画・立案、体制の整備のほか、都道府県警察に対する指導・調整等を行っています。

「逃げ得」を許さない

近年、海外に所在する指示役からの指示に基づき、実行役が日本国内で窃盗等の犯行に及ぶなど、国境を越える組織的な犯罪が多数認められます。

刑事局においては、海外に所在する被疑者の検挙に向け、国際刑事警察機構を通じた捜査協力のほか、刑事共助条約等を活用した捜査共助を要請するなど、「逃げ得」を許さないための取組を進めています。

私もその一員として、第一線の捜査の迅速化・効率化が図られるよう、刑事共助条約の締結交渉や、外国企業との捜査協力を含む協議に携わるなどしています。

一般職採用警察官の役割

捜査を取り巻く環境は今後も変化を続け、捜査に新たな課題を突き付けるでしょう。こうした変化を的確に把握し、効果的に対応していく上で、「治安のスペシャリスト」たる一般職採用警察官の果たすべき役割は大きいと考えています。

新たな課題に果敢にチャレンジする皆さんをお待ちしています。

「捜査手法という武器」

刑事企画課係長 [令和3年入庁]

私は、刑事企画課において、刑事法令に関する各種業務を担当しており、その中でも新たな捜査手法の検討を主要業務として行っています。科学技術の発展に伴い、犯罪が複雑化・巧妙化している中、犯罪捜査がこれに立ち後れないようにするため、警察においては常に新たな捜査手法を検討する必要があります。新たな捜査手法の導入には、技術面・予算面等様々な課題がありますが、その中でも刑事企画課では、新たな捜査手法が法的に実施可能かどうかの検討を行っています。捜査は適法に行われてこそ、犯人の検挙に繋がるものであるため、過去の判例や学説、諸外国の事例等を調査の上、必要な制度設計を行っていますが、この制度設計において、実務の視点から立案ができた際には、一般職採用警察官としての仕事のやりがいを感じました。

刑事局の仕事は捜査の在り方を考える仕事です。捜査は刑事部門に限らず、どの分野にも関わるものであるため、携わった施策が警察全体に影響を与えることもあります。この仕事のスケールの大きさこそが刑事局の魅力であると感じ、やりがいを持って日々仕事に邁進しています。

Message

警察庁の仕事は、どの仕事も国民の安全安心を守ることがその目的の根底にあります。この明確な目的の達成に向けて、皆さんと一緒に働く日を心待ちにしています。

刑事企画課

全国の刑事の中核、頭脳であり心臓

全国の刑事警察の司令塔として、刑事手続のIT化はじめとする刑事警察に関する制度やその運営に関する企画及び立案、都道府県警察の捜査活動に対する指導、捜査手法や刑事関係法令に関する調査研究等、広く捜査一般に関する仕事を担当しています。

捜査第一課

凶悪事件と対峙する、全ては被害者のために

社会に大きな不安を与える殺人、強盗等や被害者の心身に大きな傷を与える性犯罪といった凶悪事件、侵入盗をはじめとする窃盗事件のほか、略取説拐・人質立てこもり事件や航空機・列車事故といった特殊事件等の捜査に関する業務を担当しています。

捜査第二課

政治・行政・企業の不正を糾す

政治や行政に対する国民の信頼を揺るがし、あるいは我が国の経済・市場システムを内部から蝕む、贈収賄事件や選挙違反事件、入札妨害・談合事件、企業関係犯罪といった各種知能犯罪の捜査に関する業務を担当しています。

捜査支援分析管理官

社会の変化に適応した捜査

部門の垣根を越えた犯罪連携情報を収集・分析し、広域犯罪等の全体像の解明、各都道府県警察に対する情報提供等を行っているほか、新たな制度・サービスが犯罪インフラとして悪用されることの防止・解消に取り組むなど、社会の変化に対応した犯罪捜査の支援及び犯罪の情勢、手口等の総合的な分析、調査等に関する業務を担当しています。

犯罪鑑識官

科学捜査で姿の見えない悪を追い詰める

法医学、化学、心理学等の知識及び技術を応用し、指掌紋、足痕跡、現場遺留物、写真、DNA型等から捜査を科学的・合理的に進めるなど、犯罪鑑識全般に関する業務を担当しています。

組織犯罪対策部

組織犯罪対策第一課

戦略的な組織犯罪対策の展開

犯罪組織の壊滅・弱体化を図るために、暴力団や匿名・流動型犯罪グループといった犯罪組織に関する情報の集約・分析を行い、戦略的な組織犯罪対策の企画・立案等の業務を行っています。また、マネー・ローンダリング対策等を担う我が国の資金情報機関（FIU）として、疑わしい取引の情報を集約・分析し、結果を捜査機関に提供するなどしています。

組織犯罪対策第二課

犯罪組織の壊滅と薬物・銃器のない社会を目指して

我が国の社会経済を蝕み、市民生活の平穡に対する重大な脅威となる暴力団や匿名・流動型犯罪グループといった犯罪組織の弱体化・壊滅に向け、特殊詐欺、薬物・銃器犯罪をはじめとする組織犯罪及びマネー・ローダリングの取締りに関する業務を行っています。



交通局

Traffic Bureau



交通企画課課長補佐

Profile

平成16年	入庁
平成30年	警察庁交通局運転免許課付
平成31年	宮崎県警察本部交通部 交通規制課長
令和3年	内閣府政策統括官 (政策調整担当)付 参事官付参事官補佐
令和5年	福岡県警察本部交通部 交通指導課長
令和6年	警察庁交通局交通企画課 課長補佐



交通事故の無い 安全で安心な社会 の実現を目指して

交通局の役割と新たな課題への挑戦

令和6年中の交通事故死者数は 2,663 人で、前年と比較して 15 人減少しました。

しかしながら、多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりなく、次代を担う子供が犠牲となる痛ましい交通事故や、飲酒運転等の悪質・危険な運転による交通事故も後を絶ちません。また、いわゆる「電動キックボード」に代表されるような特定小型原動機付自転車等新たなモビリティへの対応、訪日外国人の増加等に伴って、外国人に対する交通安全対策も課題となっています。

交通局では、これらの課題に対して、時宜にかなった施策を多角的な視点から検討し、交通事故の無い安全で安心な社会の実現を目指しています。

一般職採用警察官の活躍と魅力

一般職採用警察官は、スペシャリスト候補として、第一線の都道府県警察における現場感覚をしっかり身に付け、現場における課題等を警察庁における施策・立案に反映させる役割を有します。交通事故の無い安全で安心な社会は国民の皆さんのがんの願いであり、これを実現するために、一般職採用警察官が果たすべき役割は大きく、やりがいや魅力は計り知れないほどのものと自負しています。

このような目標を達成するためには、今、警察庁のパンフレットをご覧になっている皆さんの力が必要です。共に知恵と意見を交わして一緒に働くことを楽しみにしています。

「変化する交通情勢への対応」

運転免許課係長 [令和3年入庁]

現在私は、主に運転免許制度に関する法令改正の検討、国会業務対応及び運転免許統計に関する業務に携わっております。他にも庁内・都道府県警察・他省庁との各種調整業務、都道府県警察からの質疑への対応も行っています。

法令改正では、いわゆる早生まれの高校生が、そうでない同年代の者と比較して、高校在学中に免許を取得することが困難になっている実態があることから、普通仮免許等の年齢要件の引下げを行いました。現在改正法の施行に向けて、下位法令改正や通達作成等の業務を担当しています。

世論や犯罪情勢を踏まえ、他の法令との関係や他省庁との調整等様々な検討を重ねた末、法令や制度を改正した時に達成感を感じました。

交通局が取り扱う道路交通法は、全国民に関係し、身近な法律だと思います。その改正に携わることができるのは、非常に大きな意義があります。全国民に影響を与える可能性があるため、慎重な検討が必要ですが、法令等の改正により、国民の安全・安心に対して、より直接的に貢献することができるのが魅力だと思います。

Message

一般職採用警察官は、被害者や遺族の声を国の施策に反映できる仕事ですので、「国民の安全・安心ために働きたい」という志を持った方々と将来共に勤務できることを楽しみにしております。

交通企画課

人とクルマが調和した交通社会の制度設計

交通警察に関する制度の企画及び立案、交通統計、交通安全教育及び交通安全運動等に係る事務を所掌しています。また、道路交通法令の改正作業や各種計画の策定作業、自動運転に関する制度の企画立案等を行っています。

交通指導課

取締りは、事故のない未来への挑戦

道路交通の秩序維持のため、交通指導取締り、交通事故事件捜査、暴走族対策に係る企画立案等のほか、白バイ・交通パトカーの運用に係る事務を行っています。また、放置違反金制度と放置車両確認事務の民間委託を柱とする駐車対策法制の運用にも取り組んでいます。

交通規制課

1億3千万の流れをコントロールする責任

信号制御や標識設置等によって交通流をコントロールし、安全かつ円滑な道路交通を支えています。また、大規模災害発生時は、速やかな災害対策が実施できるよう、緊急輸送ルートを確保する重責を担います。

運転免許課

全ドライバーの資質を背負うゲートキーパー

運転免許を取得しようとする者への教習・試験、運転免許保有者等への講習等の充実により安全運転を促進し、運転免許の取消し等により危険運転者を排除することで、運転者の資質向上を図っています。また、更新時講習のオンライン化等、運転免許関係手続のデジタル化にも取り組んでいます。

警備局

Security Bureau



国家の安寧と 穏やかな国民生活 のために

警備警察とは

警備第二課理事官

Profile

平成9年 入庁
平成22年 警察庁警備局警備課付
平成23年 在米国日本大使館
平成26年 警察庁警備局外事情報部
外事課課長補佐
平成29年 広島県警察本部警備部
公安課長
平成30年 警察庁警備局警備課
課長補佐
令和4年 広島県警察本部警備部長
令和5年 広島県警察本部警務部長
令和6年 警察庁警備局警備運用部
警備第二課理事官
令和7年 警察庁警備局警備運用部
警備第一課理事官

「警備警察」と聞いて、サミットや万博等の国際的イベントに際して、機動隊員や警護員等による安全を守るための活動は容易に想像がつくでしょう。ただ、実は私たちの任務はこれだけではありません。テロなど人命や社会全体の安全・安心を脅かす事態の未然防止を図るために、情報の収集・分析や違法行為の検挙に当たることも重要な役割です。また、地震や大雨等の災害に迅速・的確に対処することも我々の大きな責任です。

つまり、「国家の安寧と穏やかな国民生活を阻害する脅威をいち早く察知し、これと闘い、被害が発生することを未然に防止する」「災害等の緊急事態に際しては、いち早く立ち上がり可能な限りの手を尽くして被害の最小化を図る」ことが私たちの使命であり、全国警察が一致団結して日々の活動を進めています。

警察庁警備局はこうした使命を果たすための全国警察の司令塔となっています。

新旧融合による最適解の模索

私は現在、天皇陛下や皇族方の警衛と国内外要人の警護を担当する課の理事官として勤務しています。

日々生じる課題に際し、いかにして安全を確保するか仲間と共に知恵を絞っていますが、その際には様々な教訓を経て引き継がれてきた警備警察のノウハウと、それとは異なる新たな思考をミックスさせ、その時々の脅威や状況を踏まえた最適解を模索し、実際に措置に当たる都道府県警察との連絡・調整が円滑に進むよう差配しています。

新旧融合による進化を止めてはいけない業務であるがゆえ、ここには皆さんのが新鮮な思考を駆使して活躍するフィールドが大いにあります。戦列に加わってくれるのを待っています。

「新たな脅威に挑む警備警察」

警備企画課係長 [平成31年入庁]

全国の警備警察は、テロ対策をはじめとする国の公安に係る幅広い業務を担っており、警備局は、その司令塔たる存在です。警備企画課では、警備警察に関する企画立案を行うほか、警備局の立場で政府全体の取組に参画するなど、警備警察の中核として総合調整を担っています。

まもなく変容する社会情勢において、警備警察は、「テロ・ゲリラ」等の違法行為、対日有害工作、自然災害の激甚化などの脅威だけでなく、ローン・オフェンダー、偽情報といった新たな脅威に対峙しています。こうした脅威に対し、AIなどの先端技術領域までアンテナを巡らせ、警備警察活動をアップデートしていくなければなりません。

警察庁と都道府県警察における勤務経験を通じ、警備警察の施策に対する解像度が上がり、自分自身もアップデートされている実感があります。また、私が都道府県警察で勤務した際に「ワンチーム」というスローガンを耳にし、まさしく警備警察は、警察庁と都道府県警察が一体となって、様々な脅威に対峙しながら國を護っているのだと確信しました。

Message

警備警察の使命は、国の公安の維持です。終わりのないよう見えますが、達成感や問題意識を日々得られ、何より高い志を持つことができる、そんな仕事です。

警備企画課

国家の秩序を護る

警備警察に関する制度や運営に関する企画立案、警備警察に関する法令の調査及び研究のほか、急速に発展する先端技術を用いて行われるテロや犯罪等に関する情報収集及び取締り等を担っています。

公安課

民主主義を支える

民主主義社会を暴力で転覆しようとする過激派、極端な国家主義的主張に基づいて行動する右翼、依然として多くの信者を抱えるオウム真理教等に対する情報収集や「テロ、ゲリラ」事件等の警備犯罪の取締り等を行っています。

外事情報部

外事課

Nipponを護る

警備警察が扱う事象のうち、主として外国人が関与するものを扱っており、例えば、北朝鮮による日本人拉致容疑事案、北朝鮮等による対日有害活動、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出、諸外国によるスパイ活動、先端技術流出等に関する情報収集や取締り、不法入国・不法滞在者対策等を行っています。

国際テロリズム対策課

テロの脅威と闘う

警備警察が扱う事象のうち、外国人又はその活動の本拠が外国にある日本人によるテロ等に関するものを扱っており、イスラム過激派等による国際テロに関する情報収集・分析や国際会議への対応を行っています。

警備運用部

警備第一課

警備部隊の司令塔

警備実施、機動隊の全国的な運用・管理、G7サミットや万博等の大規模イベントにおける警戒警備に関する業務を行っています。

警備第二課

警衛・警護の要

皇室の方々や内閣総理大臣をはじめとする内外要人の安全を守る警衛・警護等に関して、全国警察の指導や計画の審査等の業務を行っています。

警備第三課

危機管理の中核

大規模な災害、重大テロ事案等の緊急事態発生時の警察庁における対処の中核を担うほか、原子力関連施設の警戒警備、核物質や特定病原体等の防護対策等に関する業務を行っています。

サイバー警察局

Cyber Affairs Bureau



誰もが 安全に安心 して利用できる サイバー空間の実現 に向けて

サイバー企画課課長補佐

Profile

平成15年 入庁
平成31年 警察庁生活安全局少年課付
令和3年 宮城県警察本部刑事部
捜査第二課長
令和4年 警察庁刑事局刑事企画課課長補佐
令和5年 警察庁サイバー警察局
サイバー企画課課長補佐
令和7年 愛知県警察本部刑事部捜査第二課長

サイバー空間をめぐる脅威の深刻化

近年、政府や交通、金融等の重要インフラ事業者を標的としたサイバー攻撃や暗号資産獲得を目的としたサイバー犯罪が相次いで発生しています。また、急速に社会で利用が広がる生成AI等の最新の技術やサービスを悪用した事案も数多く発生しており、最近では、大規模災害発生時に偽の救助情報がSNSで拡散される事態が見られるなど、サイバー空間をめぐる脅威は深刻化しています。

新たな治安課題への対処

警察庁では、こうした新たな治安課題へ対処するため、捜査や分析で得られた情報に基づき、被害の未然防止に向けた犯行手口の周知や関係省庁・外国機関と合同でサイバー攻撃者を公表して注意喚起するなど様々な取組を行っています。また、サイバー事案の多くは国境を越えて敢行され、

その対処には国際連携が重要となります。警察庁では、外国捜査機関との協力関係の確立を図り、多国間での情報交換にも積極的に取り組んでおり、これまで国際共同捜査を通じて、被疑者の検挙、犯罪インフラの停止によりサイバー犯罪グループの活動を停止、縮小させるなどの成果を得ています。

治安のスペシャリストとしての使命

サイバー警察局では、社会情勢を的確に捉え、新たな課題へ対応するための柔軟な思考が必要になり、また、行政官としての各種施策の企画・立案に加え、第一線の勤務を通じた警察実務の理解と施策の効果的な実施に向けた都道府県警察への指導を適切に行うことが求められます。誰もが安全で安心して暮らすことができる社会の実現に向けて、治安のスペシャリストとしての使命を存分に感じながら、日々勤務することができます。

サイバー企画課

サイバー事案対策のオペレーター

サイバー警察に関する制度や運営に関する企画・立案及び法令の調査・研究のほか、官民連携等を通じたサイバー事案の被害防止対策、サイバー空間の情勢に関する情報収集・分析、サイバー警察に関する国際的な枠組みへの参画等に関する事務を行っています。

サイバー捜査課

捜査を通じたサイバー空間の安全確保

サイバー事案の捜査に関する企画・立案、サイバー事案の情勢及び手口の分析のほか、外国捜査機関との連携、都道府県警察が行うサイバー事案の捜査に関する指導・調整等を行っています。

情報技術解析課

技術のスペシャリスト

捜査で押収した証拠品の解析など、情報技術を用いて、警察が行う犯罪の取締りを支えています。また、こうした技術を生かし、サイバー事案に用いられる不正プログラムの解析、サイバー空間の脅威や脆弱性の調査・分析のほか、解析能力向上のための取組を行っています。

「時代の最前線に身を置いて」

サイバー企画課係長 [平成30年入庁]

情報通信技術の著しい発展に伴う日常生活や経済活動へのサイバー空間の浸透が、社会に様々な便益をもたらしている一方、サイバー空間を悪用した犯罪も脅威となっています。DDoS攻撃、ランサムウェア、フィッシング等、例を挙げ始めれば枚挙にいとまがありません。

こうした深刻な情勢に対応するため、令和4年、警察庁にサイバー警察局、関東管区警察局にサイバー特別捜査隊（令和6年、サイバー特別捜査部に発展改組）がそれぞれ新設され、全国警察一丸となって、サイバー空間の脅威に立ち向かっています。

こうした中、私は、サイバー企画課において、サイバー警察の運営に関する企画・立案や法令の調査・研究等に携わっています。

警察に求められる役割が時代の変化と共に多様化していく中、サイバー部門という時代の最前線に身を置いて、警察庁での行政官としての勤務経験と都道府県警察での警察官としての勤務経験との双方を生かすことで日本の治安維持・向上の一翼を担うことができることに誇りを感じながら日々の勤務に従事しています。

Message

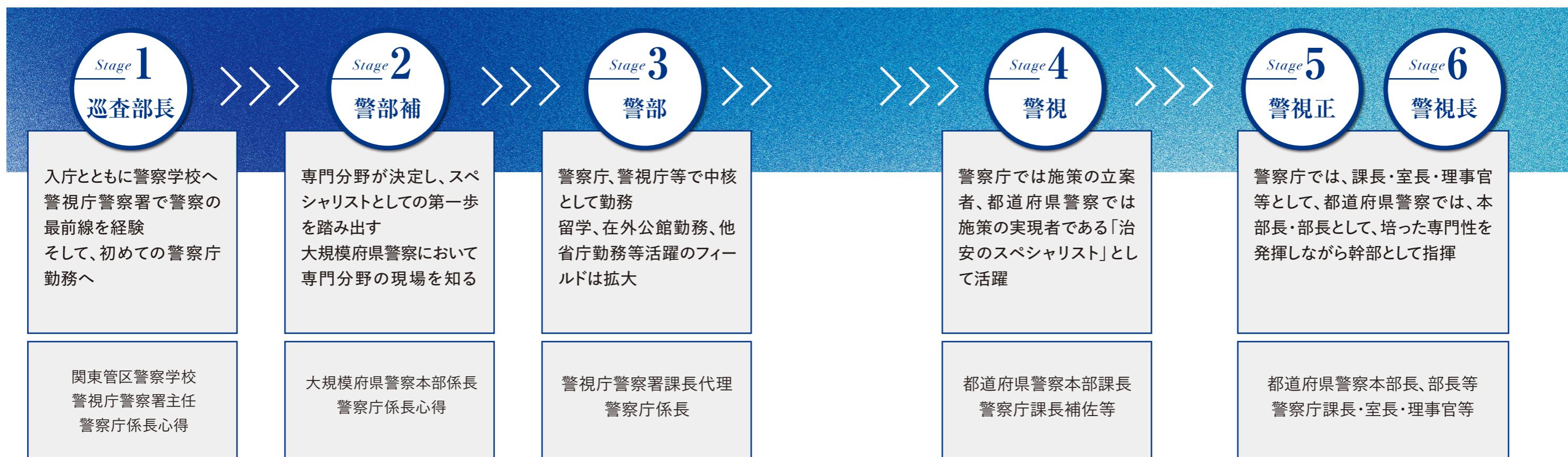
国という大きな観点からの治安維持・向上に関する仕事は、警察庁でしか経験することのできない魅力的な仕事です。あなたの熱い思いを警察庁で生かしてみませんか。

キャリアステップ

警察庁警察官の役割とキャリア ステップ (スペシャリスト候補)

警察庁警察官（スペシャリスト候補）は、それぞれの専門分野において、警察庁では第一線の勤務経験を生かして地に足の着いた政策を立案するとともに、都道府県警察では警察幹部として政策の実現を通じて政策の改善点を確認するなど、警察庁と第一線の双方の勤務を通じて高度の専門性を有する「治安のスペシャリスト」として育成されていきます。

また、各個人がキャリアを通じて法律立案、対外折衝、組織運営等の行政官としての能力を獲得することにより、オリジナリティと広い視野を持ったスペシャリストとして活躍することができます。



キャリアステップ 現場のストーリー

Stage1 巡査部長



より良い 未来に向けて

警視庁町田警察署組織犯罪対策課主任
令和6年入庁

私は現在、警視庁町田警察署組織犯罪対策課薬物銃器対策係の主任として、薬物、銃器事案の捜査に従事しています。組織犯罪対策課には、来日外国人対策、暴力団対策、薬物銃器対策の3つの係が存在しており、協力しながら、日々犯罪組織と対峙しています。

ある日、「ヤクザとトラブルになっている知人がいなくなった」という相談をきっかけとして監禁事件を認知しました。この時も、係の垣根を越え、防犯カメラ検査などあらゆる検査手段を尽くし、数時間後に、遠く離れた某県の戸建て住宅で監禁されていた被害者を保護しました。

また、この事件の犯人グループの中には薬物に関与している者がおり、私はその検査に従事しました。薬物犯罪は被害者のいない犯罪と言われており、犯罪組織の実態を解明するためには犯人と向き合うことで供述を引き出すことが求められます。この事件の犯人は、偶然に犯罪組織の一員と関わってしまったことをきっかけに、犯罪に手を染めてしまった人でした。

何度も話を聞いていく中で、犯人が「これをきっかけに組織から離れて、ちゃんと生きていきたい」と言ってくれたとき、私は、一人の人生と国の治安をより良い方向へと変える検査員の仕事の重要性を強く感じました。

今後、警察庁で勤務するにあたっては、治安維持のために第一線で働く検査員が働きやすいよう、施策を企画・立案していくみたいです、その時に皆様と一緒に勤務できることを楽しみにしております。



現場と施策の 架け橋に

千葉県警察本部人身安全対策課係長
令和2年入庁

私は、千葉県警察本部人身安全対策課の係長として、ストーカーやDV、行方不明事案等の人身安全関連事案に関する業務に従事しています。

人身安全関連事案は、警察が認知した時点では、比較的軽微なトラブルであっても、事態が急展開して重大事件に発展するおそれがあるものであり、その危険性・切迫性を正確に評価し、安全を確保するために採るべき措置を速やかに判断することが必要になります。人身安全対策課では、県内で発生した様々な人身安全関連事案を集約しており、担当警察署や関係都道府県と連携して、被害者等の安全確保を第一に日々事案対応に当たっています。

一つとして同じ事案があるわけではなく、恋愛感情のものつれ等のそれぞれの私的な人間関係に左右される事案であることから、事案ごとに起こりうる様々な事態を想定して、採るべき措置を判断することの難しさを実感しています。だからこそ、第一線で真に必要とされているものが何かを把握し、現場経験と繋がりを生かして、地に足の着いた施策を企画・立案することが重要なだと感じており、その架け橋となることこそが一般職採用警察官の務めであると思っています。

私が警察官を志した理由は「当たり前の日常を守りたい」という想いを抱いたからです。しかし、この目標は一人の力で実現できるものではありません。日夜、様々な事案と向き合い、闘っている全国警察の一員として、国民の当たり前の日常を守るべく、一緒に働いてみませんか。

Stage2 警部補



キャリアステップ 活躍のフィールド

Stage3 警部



悲惨な交通事故を 1件でも 減らすために

警視庁向島警察署交通課課長代理
平成26年入庁

私は、現在、警視庁向島警察署交通課で、交通総務や交通規制を担当する課長代理として勤務しています。管内は、下町の風情が残る街並みが広がり、隅田川沿いでは、年間を通じて様々な行事があります。こうした管内情勢を踏まえた交通安全の広報啓発や、祭礼行事に伴う交通規制などの対応を行っています。

課長代理の業務は、許可事務や広報啓発等の業務管理、課員の人事管理など多岐にわたります。業務では、現場責任者として、交通安全教室に従事することがあります。参加している子供たちが熱心に課員の話を聞いている姿を見ると交通安全教育の重要性を改めて実感します。また、当直時間帯では、当番責任者として、管内で発生する事案について適切な対応が求められますが、署員の方々と協力しながら日々業務に邁進しています。

これまでの現場勤務で、交通事故現場に何度も臨場しました。こうした経験を経て、悲惨な交通事故を1件でも減らしたいという思いを強く持ち、この思いを胸に勤務してきました。現在は第一線の幹部として仕事をしていますが、原点を忘れずに勤務とともに、管理職の立場で感じたことを今後の勤務で生かしたいと思います。

一般職採用警察官が活躍できるフィールドは多様であり、活躍できる場所が必ずあると思います。日本の治安維持のために一緒に汗を流してくれる熱い思いをもった方をお待ちしています。



世界の スペシャリストとともに

ICPO事務総局
平成24年入庁

国境を超えて敢行される犯罪に対処するためには、国際捜査協力の円滑化、各国警察の犯罪対処能力の向上、関係機関の協力の強化等が不可欠です。

こうした観点から、私はフランスに所在する国際刑事警察機構(INTERPOL)において、国外送金された金融犯罪の被害金を差し止めるためのオペレーション、アフリカにおける関係機関への講義、金融活動作業部会(FATF)の国際会議の出席等の業務に従事しています。

INTERPOLには、それぞれの専門分野に係る高度な知見を有する世界中の警察官等が勤務しており、私は日々、こうしたスペシャリストと切磋琢磨しながら、自身の知識・経験を最大限に活用して勤務しています。

日本そして世界の安全・安心の確保のため、皆様とともに勤務できる日を楽しみにしています。



子どもの 安全・安心のために

こども家庭庁成育局安全対策課
平成26年入庁

私は現在、転落、溺水等の子どもの事故防止や、青少年によるインターネットの安全な利用、登下校時をはじめとする防犯対策等の総合調整を行い、子どもが事件や事故に巻き込まれることなく、健やかに成長するための取組を関係省庁とともに推進しています。

私は刑事部門の経験が長く、こうした最前線を知るスペシャリストとしての経験を生かした判断や調整ができることもあれば、これまで関わることのなかつた分野の専門家から学びを得ることもあり、日々、同じ志を持った仲間と奮闘しています。

こどもを含めた国民の安全・安心のために奮闘できる人に、警察庁の門戸は開かれています。ぜひ一步を踏み出してみてください。



キャリアステップ 活躍のフィールド

Stage4 警視



社会に蔓延る 不正を見逃さない

栃木県警察本部刑事部捜査第二課長
平成23年入庁

Profile

令和7年 栃木県警察本部刑事部捜査第二課長



知能犯捜査の指揮官として

選挙における買収や、贈収賄等の汚職事件、又は金融・企業犯をはじめとする経済的不正。私が所属する捜査第二課は、政治・行政・経済を蝕むこのような不正を捜査によって解明し、社会的公正を実現することを使命としています。これらの不正は、社会の根幹を揺るがす重大な犯罪なのですが、一般的に潜在化する傾向が強いため、検挙することは容易ではありません。水面下で不正が横行することがないよう、捜査員は日夜、情報収集に努め、集めた情報を懸命に精査しています。

私は栃木県警察における知能犯捜査の指揮官として、捜査の進捗状況等を把握し、公判を見据えた適切な捜査指揮、判断をすることが求められています。「社会に蔓延る不正を見逃さない」という信念を持って、事件検挙を目指しています。

多様な勤務経験全てが自分の糧に

私はこれまで、主に生活安全部門を中心として警察庁や都道府県警察等で勤務してきました。現在は捜査第二課

で勤務しておりますが、「治安を守る」という目的は同じです。生活安全部門においては、「犯罪の抑止」に主眼を置いて勤務してきましたが、現在は「犯罪の検挙」に主眼を置いて捜査指揮をしており、この経験は警察活動における自身の視野を広げ、今後の警察人生の糧になるものと思っています。

志望者の皆さんへ

私は「治安を守る」というどんな時代にも求められる不变の使命に魅力を感じ、警察庁を志望しました。一般職採用警察官は、自らの専門分野を持ち、その専門性を磨き上げていくことができます。皆さんと一緒に勤務できる日を心待ちにしています。

警察の責務

国家公安委員会会務官付補佐官
平成21年入庁

Profile

令和5年 警察庁長官官房人事課付
令和6年 新潟県警察本部刑事部捜査第二課長
令和7年 警察庁長官官房国家公安委員会会務官付補佐官



国家公安委員会会務官付補佐官としての仕事

私は現在、警察庁長官官房国家公安委員会会務官付補佐官として、秘書官を筆頭に、係一丸となって国家公安委員会委員長を補佐する仕事を担当しています。国会において、警察庁提出法案の審議が行われる際、委員長と担当部局との間で円滑に意思疎通が図られ、国会の場で正確な発信ができるよう、法案に対する理解を深めることはもちろん、答弁の際の言葉を慎重に選ぶなど、日々担当部局と検討を重ねています。このほか、毎週行われる記者会見に備え、平素から各種事件事故の発生状況等について、これまでの刑事局での勤務経験を生かし、要点を押さえながら情報を常にアップデートしています。委員長は幅広い分野を担当し、数多くの公務を遂行していかなければならぬため、係の担当業務に分野の垣根はなく、昼夜を問わず、警察に関係する様々な案件を取り扱っています。



これから職業選択をする皆さんへ

これまで主に刑事警察の道を歩んできた私にとって、現在の業務の中で取り扱う法令、制度等は初めて目にするものもあり勉強の毎日です。改めて警察行政の懐の深さ、そして何より、分野如何に関わらず、「国民の安全安心を守る」という警察の責務の普遍性と組織としての熱量の高さを痛感するとともに、十数年前、警察の仕事を選んだ自分を誇らしく思ってくれます。是非皆さんが、十数年後も誇らしく思えるような職業選択ができるることを願っています。



キャリアステップ

活躍のフィールド

Stage5 警視正



様々な経験が今につながる

新潟県警察本部警務部長 平成12年入庁

Profile

平成26年 警察庁交通局交通企画課付
平成27年 広島県警察本部交通部交通規制課長
平成28年 警察庁交通局交通規制課付
平成31年 静岡県警察本部交通部交通規制課長
令和2年 警視庁交通総務課調査担当((財)交通事故総合分析センター)
令和5年 警察庁長官官房教養厚生課課長補佐
令和7年 新潟県警察本部警務部長



組織の充実・強化を担う

皆さんが警察に期待することは何でしょうか。

悪質な刑法犯や組織犯罪の徹底した検挙、人身安全関連事案への迅速な対処、地域におけるパトロールの充実や災害時の対応などを思い浮かべるかもしれません。

警務部長は、変化する治安情勢に対応し、警察がこれらの役割を的確に果たしていくため、限られた人材、予算をどのように活用していくのかを検討し、組織全体として高いパフォーマンスを発揮できるようにすることが主な業務になります。

これまでの歩みを通して

私は、これまで、第一線において、犯罪捜査や交通捜査に携わってきたほか、警察庁において、交通警察や犯罪被害者等施策における法令の改正、制度の運用改善、国対応、予算要求、関係府省庁との調整等の業務に従事してきました。

現在は、約4,700人の警察官、警察職員を擁し、県民約200万人の暮らしを守る新潟県警察において、自らの判

断が与える影響の大きさを感じているところですが、これまでの業務によって培った様々な経験が、新たな判断を行う上での支えとなっています。

特に、県の将来像を見据え、信号機等の交通安全施設の設置や契約の見直しに取り組んできた交通規制課長としての経験が、現下の問題だけではなく、10年以上先の将来を見据えた選択をしなければならないという私の考え方の基礎となっています。

皆さんへのメッセージ

安全で安心できる社会を作っていくという警察の目的は、第一線から警察庁に至るまで一貫しており、新たな仲間と、新たな場所で、新たな役割を担うこととっても、同じ目的意識を持って取り組むことができるやりがいのある仕事です。

また、仕事と家庭の両立ができるよう、一人一人の状況に応じた働き方ができる取組が進んでおり、活躍の分野も多岐にわたっています。

皆さんのが興味を持つ分野も必ず見つかると思いますので、是非、警察庁にお越しください。

情熱をかける

保安課風俗環境対策室長

平成6年入庁

Profile

平成19年 警察庁長官官房人事課付
警察庁生活安全局少年課付
平成21年 京都府警察本部生活安全部少年課長
平成22年 警察庁生活安全局保安課課長補佐
平成24年 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室課長補佐
平成26年 警察庁生活安全局生活企画課課長補佐
平成27年 警察庁長官官房国際課課長補佐
平成30年 警察庁警備局外事情報部外事課課長補佐
令和3年 山形県警察本部警務部長
令和5年 警察庁生活安全局人身安全・少年課理事官
令和6年 警察庁生活安全局調査官
令和7年 警察庁生活安全局保安課風俗環境対策室長



国民の生活を守る

昨今の風俗環境を見ると、被害者がいないような犯罪であっても国民の生活を脅かしています。例えば、違法なオンラインカジノでの賭博が蔓延している状況があります。その背景には、賭客の入出金を仲介する決済代行業者やアフィリエイター等が暗躍しており、依存症対策という観点からも社会全体での対策が不可欠です。

私が所属する保安課では、若手職員と共に、関連の制度や第一線の捜査状況をリサーチし、検討して、新たな取締り戦略や諸対策を打ち出しています。

「one team」で闘う

令和7年春、改正風営適正化法が成立しました。昨今の悪質ホストクラブ等による女性の搾取といった問題を踏まえ、規制を強化するものです。法改正の検討段階では幾つの課題がありましたら、有識者検討会の場で様々な立場の方の意見を頂き、若手職員と共に「one team」で検討してきました。

今後は、全国警察と共に「one team」となって、改正された

規定を効果的に活用しながら、悪質ホストクラブとスカウトグループ、性風俗店等が結託して女性を徹底的に搾取するという、卑劣なビジネスモデルの解体に取り組んでいきます。

警察という職業

時代と共に変化する社会と価値観に敏感に察知し、「one team」で取り組む。これが警察の魅力であり、まさに情熱をかけるに値する仕事です。皆さんも我々の「one team」に加わりませんか。

オンラインカジノの広告・宣伝 違法

オンラインカジノの広告・宣伝が違法になりました。悪質ホストクラブに対する対策が強化されました。

- SNSでの広告
- 紹介サイト
- 紹介動画の投稿
- SNSからの誘導

以下の行為も違法です。

- SNSでの広告
- 紹介サイト
- 紹介動画の投稿
- SNSからの誘導

警察庁HP: [#9110](#)

全て「違法」です

悪質ホストクラブに対する対策が強化されました。

支払に個人情報を登録する行為は違法です。

未成年者への販売は違法です。

運営者への不適な言葉遣いは違法です。

高齢者への販売は違法です。

悪質ホストメンコンキャラクターは、あなたを惹き立てる「悪質ホストメンコンキャラクター」ではなく、あなたを惹き立てる「悪質ホストメンコンキャラクター」ではありません。

警察庁HP: [#9110](#)

キャリアステップ

活躍のフィールド

Stage6 警視長



治安の最高責任者として

三重県警察本部長 昭和63年入庁

Profile

平成10年 警察庁警備局公安第二課付
平成12年 山梨県警察本部警備部警備第一課長
平成14年 熊本県警察本部警備部警備第一課長
平成16年 警察庁警備局警備企画課課長補佐
平成17年 警察庁警備局公安課課長補佐
平成22年 警察庁警備局警備企画課課長補佐
平成23年 山口県警察本部警務部長
平成26年 埼玉県警察本部警備部長
平成28年 警察庁警備局調査官
平成28年 千葉県警察本部警備部長
平成29年 警察庁警備局警備課警衛室長
令和元年 千葉県警察本部警務部長
令和3年 警察大学校警備教養部長
令和5年 原子力規制庁長官房安全規制管理官
令和7年 三重県警察本部長

全ては現場のために

捜査第一課長 平成2年入庁

Profile

平成13年 警察庁生活安全局生活安全企画課付
平成14年 警察庁生活安全局薬物対策課付
平成16年 佐賀県警察本部生活安全部生活保安課長
平成17年 佐賀県警察本部刑事部組織犯罪対策課長
平成18年 警察庁刑事局組織犯罪対策部国際捜査管理官付課長補佐
平成18年 國際刑事警察機構事務総局派遣
平成21年 警察庁長官房人事課課長補佐
平成23年 警察庁生活安全局生活経済対策管理官付課長補佐
平成24年 警察庁長官房人事課課長補佐
平成25年 香川県警察本部警務部長
平成27年 警察庁刑事局組織犯罪対策部暴力団対策課理事官
平成28年 京都府警察本部刑事部長
平成29年 警察庁刑事局組織犯罪対策部調査官
平成30年 警察庁長官房総務課理事官兼秘書室長
令和2年 警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課犯罪組織情報官
令和4年 警察庁刑事局捜査第一課特殊事件捜査室長
令和6年 秋田県警察本部長
令和7年 警察庁刑事局捜査第一課長



現在の業務

三重県警察本部長として、三重県民の安全安心を実現する上で比較優位な対応は何か、常に自問自答しながら部内外にメッセージを発し、約3,500人からなる三重県警察職員の衆知を結集することに注力しています。県警察の事務統括及び指揮監督に当たる者として責任は重いですが、発するメッセージが理解され、警察活動や組織運営の改善を実感することは警察本部長の仕事の醍醐味です。

これまでを振り返り

日本の社会が後にバブル経済と評される未曾有の好景気に沸く昭和63年春、社会活動や経済活動が円滑に営まれるのは安定した治安の賜との思いから入庁しました。昭和から平成、平成から令和へと時代が大きく動く中、警備部門を中心とする勤務を通じて公共の安全と秩序の維持に微力を尽くす日々でした。この三十数年間は、入庁時の思いが純度の高い信念へと変化する過程でありました。

志望者へのメッセージ

治安のスペシャリストとして特定の専門分野で経験を積む一方、警察本部長は全方位に組織を統率することが求められます。過去に警務部長として組織全体を見た際の経験等を活かしつつ、治安のスペシャリストに求められる研究心を發揮して職務に当たる過程で、採用の位置付けと現在の職の間にギャップがあると感じたことは一度もありません。

約40年間にわたり試行錯誤をしながら練られたキャリアステップの制度体系と開かれた活躍のフィールドです。皆さん、無いなく歩を進めることを期待しています。



警察庁捜査第一課の役割

各都道府県警察本部には必ず捜査第一課が、また、各警察署には刑事担当課が存在し、そこに所属する刑事の皆さんは、殺人、強盗、不同意性交等、放火、略取誘拐、人質立てこもり、大規模な業務上過失致死傷等の犯罪を検挙するため、時には寝食を忘れて捜査を展開し、また、ご遺体が発見された場合には、犯罪との関連性や身元の特定等のため、死者やご遺族への配慮をしつつ、昼夜を分かたず検視や医師による解剖の立会い等を行っています。

警察庁刑事局捜査第一課は、現場で奮闘する刑事の皆さんを支援し、より業務がし易くなるよう、警察庁でしかできない様々な業務、具体的には、これまで蓄積してきた豊富なノウハウに基づく都道府県警察に対する具体的な捜査指導、現場の意見・要望を踏まえた銃器使用人質立てこもり事件への対処に必要な装備や適正なご遺体の取扱いに要する経費の獲得、複数の都府県で発生した匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）による闇バイト強盗や窃盗事件の検挙に向けた関係府県警察間の情報の共有促進や合・共同捜査本部の設置に向けた調整等を行っています。

志望者へのメッセージ

現在、課長として課員と共に日々このような業務を行う中で、私は、入庁以来計画的に実現された警察庁や都府県警察での勤務経験が、先を見通した施策の企画立案、具体的かつ効果的な説明、課題対応の際の判断等、仕事を的確に進める上でのベースとなっていることを強く感じています。

治安のスペシャリストである一般職採用警察官を目指している皆さん、この仕事は時には苦労や困難を感じることもありますが、「全ては現場のために」日々努力を積み重ねることにより、治安への貢献や自分の成長を実感できる素晴らしい仕事です。

近く皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



研修制度・ワークライフバランス

研修制度

採用と同時に関東管区警察学校に入校し、初任課程研修を受け、警察行政に関する基礎的な知識や一般職採用警察官としての心構え等を学びます。

また、警視庁勤務終了後や大規模府県警察勤務終了後、実務上の知識・経験を総括するほか、警察庁勤務における業務に関する研修等を受けます。

その他、適性等に応じて、海外留学やFBIアカデミーへの派遣等、より高いレベルの研修を受ける機会があります。

ワークライフバランス

休暇制度について

年次休暇 20日間（最大40日間）。採用年は15日間）、特別休暇（夏季、結婚、忌引等）に加え、育児・介護休暇制度、産前・産後休暇、配偶者出産休暇、育児短時間勤務等の各種制度があり、各職員は積極的に利用しています。

住居について

警察学校での研修中は学生寮が完備されています。また、勤務場所に応じて、公務員宿舎（独身寮、家族寮）があり、希望者は原則入居可能です。さらに、賃貸物件を自ら契約して居住する場合には、住居手当が支給されます。



警察庁職員が利用できる主な仕事と育児の両立支援制度

育児休業

3歳未満の子を養育する場合、配偶者の就業の有無にかかわらず、3歳の誕生日の前日まで休業できます。



職務専念義務免除

妊娠婦が健康診査や保健指導を受診する、通勤時の混雑が妊娠中の負担になる場合、勤務しないことが認められます。



産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間の休暇を取ることができます。（10日が上限）



配偶者出産休暇

配偶者の出産に伴う入退院時・出産時の付添などを行うために休暇を取ることができます。



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制、ワークライフバランスを支援する制度が多数あります。

男性職員の育児参加のための休暇

配偶者が出産する場合、その出産にかかる子又は小学校就学に達するまでの子を養育する男性職員が休暇を取ることができます。



子の看護休暇

小学校3年生までの子を養育する職員が子の看護をする必要がある場合、子供1人につき、年5日の休暇を取ることができます。（10日が上限）



育児時間

小学校就学前の子を養育する場合、1日の勤務時間のうち最大2時間までの勤務時間を短縮できます。

育児短時間勤務制度

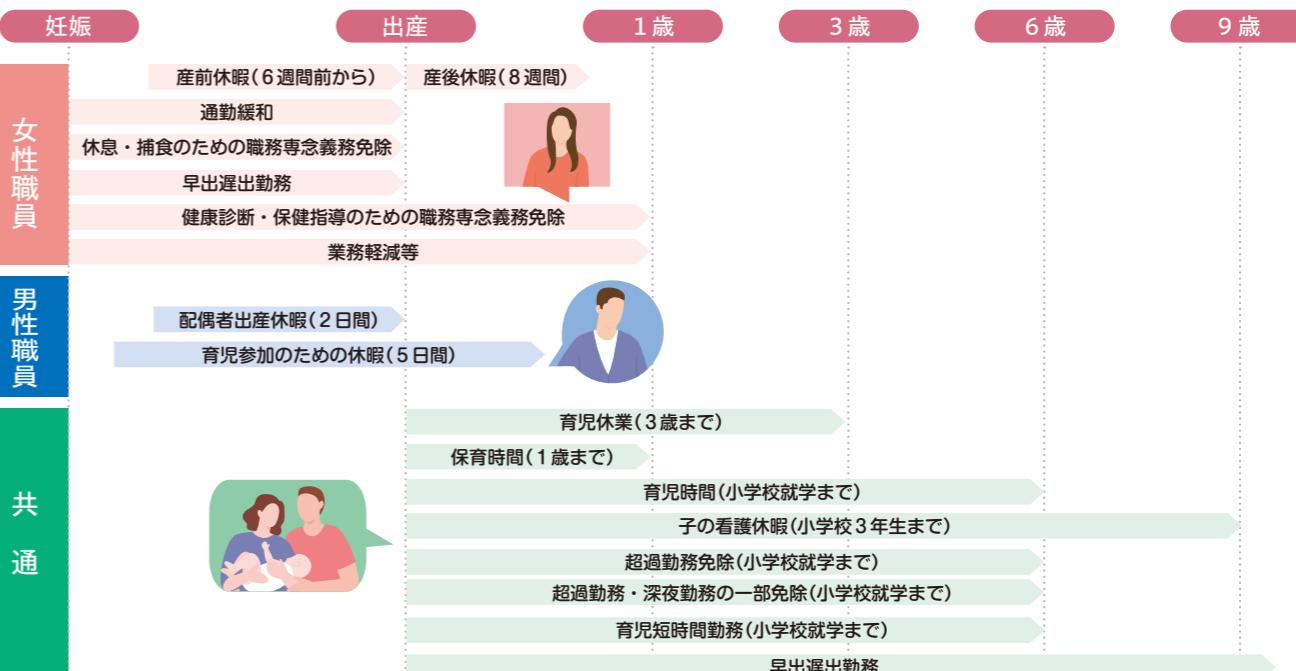
小学校就学前の子を養育する場合、該当する勤務形態により勤務時間を短縮することができます。

休憩時間の短縮

育児や家族の介護のため、休憩時間を短縮することができます。

テレワーク勤務

1日の勤務時間全体又は一部を自宅で勤務することができます。



研修制度

警察学校



警察官としての第一歩

警察庁警察官としての第一歩は、関東管区警察学校(東京都小平市内)から始まります。

ここでは、約4か月間、警察庁警察官として必要な法学や警察実務に関する知識・技能を学ぶほか、拳銃、柔剣道、逮捕術等の教養を通じて、警察庁及び都道府県警察の双方で活躍するための土台作りをします。

入庁者の多くは、警察行政に関する法令や柔剣道等の実技に初めて触れる事になることから、警察学校においては、初学者向けの授業内容を実施し、誰もが必要な知識・技能を身に付けることができるカリキュラムを策定しています。

卒業する頃には、大きく成長した自分と会えるとともに、かけがえのない同期との絆が今後の職業人生を支えてくれるはずです。

警察学校での1日

起床・朝食 9:00	1時限目 10:30	2時限目 12:50	昼食	3時限目 14:20	4時限目 15:50	5時限目 課外・自主トレ 夕食・入浴 自習・消灯
点検・ 教練(※)	法学 (警察法等)	柔剣道	警察実務 (書類作成等)	拳銃訓練		

※警察官としての職務遂行に必要な姿勢や態度、服装等を検査し、厳正な規律を養うとともに、部隊行動の訓練を行います。

海外留学

海外で行政官としての視野を広げる

ドイツ・バイロイト大学
平成28年入庁



私は現在、ドイツ・バイエルン州に位置するバイロイト大学の修士課程で社会学を専攻しています。社会学と聞くと警察庁の業務と関連がないように思えるかもしれません、社会学は政策立案を行う際に課題の背景にある様々な要因を分析し、解決に向けた方策を検討する際のアプローチをすることができる学問です。

大学院では、一般的な社会学の講義に加え、自らの専門分野以外にも治安に関する様々な視点を養う機会に恵まれています。また、ドイツ州警察との交流を通じて、両国の警察制度の違いについて意見交換をするなど、貴重な経験をすることができました。政策立案を行う際に他国との比較を行うことも非常に重要な視点です。

ドイツにおける課題、講じ得る対策や法制度等について調査・研究した経験は、今後、私が携わる政策立案に資するものであり、ひいては日本の警察行政に還元できるものと考えています。

一般職採用警察官には、このように海外留学をはじめとした自らの専門性や知見を高める様々な研修の機会が用意されています。日本における勤務だけでは決して得られることのないグローバルな知見、幅広い視野、そして現地警察官との国を超えた交流は、行政官として、また私自身の成長の糧になっていると感じます。このパンフレットを手に取られた皆さん、是非このように成長の機会に恵まれた警察庁で働いてみませんか。

ワークライフバランス

子育て中の職員に対するインタビュー

1 出産・育児に伴いどのような制度を利用していますか？

制度は利用しやすい雰囲気ですか？

私は、産前産後休暇と育児休業を取得し、復職後は昼休みの短縮や特別休暇を活用して子供との時間を確保しています。また、育休中に、復職後どのような働き方をしたいか上司に伝え、スムーズに復職することができました。

2 仕事と両立のために、工夫している点を教えてください。

子供との時間を確保するために、復職前に夫と家事・育児の分担や流れについて話し合い、現在は家の一部を家電に頼るなどしています。また、平日でできない家事は休日にやると気持ちを切り替えて過ごしています。

3 制度利用前後で働き方はどう変わりましたか？

業務の優先順位やスケジュール感をより一層意識して仕事をするように努めています。また、周囲のサポート体制が整っていることもあり、不在時の急な案件に対応できるよう、情報共有や上司への報告を適宜行っています。

4 学生の皆さんにメッセージをお願いします！

復職前、スムーズに復帰できるか不安がありました。しかし復職すると、上司をはじめとした周囲の支えや子育てへの理解があること、子育てをしている先輩方へ気軽に相談できる環境があることから、仕事に育児に充実した日々を送っています。

警備局外事情報部
国際テロリズム対策課係長
平成29年入庁

1 出産・育児に伴いどのような制度を利用していますか？

第一子が生まれる際は、いわゆる男の産休を取得了しました。現在は、子供を幼稚園に送ってから出勤するため、遅出勤務としています。また、間もなく第二子が生まれる予定ですが、今度は男の産休だけでなく、育児休業の取得も考えています。

2 仕事と両立のために、工夫している点を教えてください。

仕事が中心になる平日であっても、朝は子供と過ごせるので、登園するぎりぎりまで話をしたりしています。休日は、平日に時間が取れなかった分、子供と思いっきり遊ぶようにしています。

3 制度利用前後で働き方はどう変わりましたか？

朝に対応すべき業務については同僚にカバーしてもらう必要があるため、同僚と幅広に情報共有するようになりました。一方で、他の時間帯に対応可能な業務については、積極的に同僚をカバーするよう心掛けています。

4 学生の皆さんにメッセージをお願いします！

警察庁には、早出遅出勤務はもちろん、育児休業を取得した男性の同僚が多数います。積極的な取得を呼び掛けられるなど周囲の理解も進んでおり、安心して育児に取り組める職場です。皆さんの入庁をお待ちしています。

刑事局組織犯罪対策部
組織犯罪対第一課付
平成23年入庁

警察庁職員の一日

生活安全局人身安全・少年課係長
令和3年入庁

9:20

出勤

通勤の電車内でも語学学習やニュースを確認するなど、スキマ時間も無駄なく活用してコツコツ自己研鑽に励んでいます。

12:00

昼食

妻が作ってくれるお弁当を食べながら、午後の勤務に向けてしっかりと休憩するなど、メリハリのある勤務を意識しています。

19:00

検討

立案する施策が絵に描いた餅とならないよう、実務に精通する職員の方々から様々な助言や意見をいただき、検討を深めます。

決裁

先ほどの検討を踏まえ、施策の趣旨や考えられる懸念等について要点を押された説明を行い、当課としての方針を上司に伺います。

退庁

この日は少し残業して上司からの指摘事項を整理していましたが、特に急ぎの業務がなければ定時に退庁します。

休日の過ごし方

社会人になってからサウナにハマっており、都内のいろいろな銭湯を巡っては心も体も整えています。



若手職員 Q&A

Q1

警察庁を志望した理由は?

A

- 犯罪をなくすために、法律や制度面から包括的なアプローチを検討することができる業務に惹かれました。
- 人の役に立ちたいという思いで就職活動をしていたところ、「当たり前の日常を守る」という警察庁の使命に最も共感したからです。
- 業務説明会で警察庁の仕事を熱く語る職員と出会い、この人たちと共に私も熱く働きたいと思いました。

Q2

あなたにとって同期とは?

A

- 楽しいことも辛いことも一緒に経験してきたからこそ、何でも相談できる心のよりどころのような存在です。
- 今までにできたことのない特別な存在です。ライバルというよりは一緒に成長し、支え合う最も信頼できる仲間です。
- 社会人になってからこれほど固い絆の仲間ができることはあまりないと思うので、貴重な存在です。

Q3

職場の雰囲気は?

A

- 仕事に対する真剣な雰囲気もある一方で、悩んでいることや分からぬことがあった際はいつでも質問することができる和やかな雰囲気もあります。
- 職場の雰囲気はとても温かく、当たり前の日常を守るといった共通の目標に向かって職員全員で前向きに仕事を取り組める環境です。
- 個人で完結する業務はあまりなく、係をまたいで協力する業務が多いことから、職員同士の会話が盛んで、雰囲気は賑やかです。

Q4

入庁前後のギャップは?

A

- 想像していたよりも警察庁と現場の距離が近く、警察庁の業務の先に現場があることを実感しました。
- 入庁前は殺伐とした雰囲気の職場で、休みもなかなかとれないのではないかと思っていましたが、気さくな上司や同僚に恵まれ、適度に休みもとることができます。
- 想像以上に業務の幅が広く、自分が知らないことばかりで、驚きと学びの日々を過ごしています。

Q5

若手に任される業務は?

A

- 若手だからと言って、簡単な業務しか任されないということではなく、むしろ難しい業務を任された上で上司と相談しながら業務を進めるので日々充実しています。
- 私は政府の施策に関する他省庁等との調整業務を担当しています。若手職員であっても、治安上の課題となっている様々な事柄の解決に向けた施策の企画立案など、重要な業務に携わることができています。
- 外国警察や外国機関からの日本警察としての見解や取組に関する質疑対応に携わったことがあります。その中で関係する文献の読み込みを行うなど非常に多くの学びがありました。

Q6

警察庁の仕事でやりがいを感じる瞬間は?

A

- 改正法が成立した際や、制度の運用が開始する際など、自分が携わった業務が、目に見える形で世の中に打ち出されたときにやりがいを感じました。
- 担当した施策が全国に報じられる様子を見ると、自分の仕事のスケールの大きさを感じるとともに頑張って良かったとやりがいを感じます。
- どんなに単純な案件でも、迅速・的確に対応することができたときに「ありがとう」と言われると、モチベーションアップにつながります。

Q7

どのように仕事に必要な知識を習得していますか?

A

- 先輩職員の姿を参考に、日々学ぶ姿勢を大切にしています。世の中の事象に対するアンテナを高くし、広い視野を持つよう心掛けています。**敬司**
- 自ら知識を習得することはもちろん、職場の上司、先輩、同僚等の経験は貴重な知識になるので、積極的に多くの人と話すようにしています。

- 各種業務に関する研修が充実しているので、積極的に参加するようになります。

Q8

将来どんな職員になりたいですか?

A

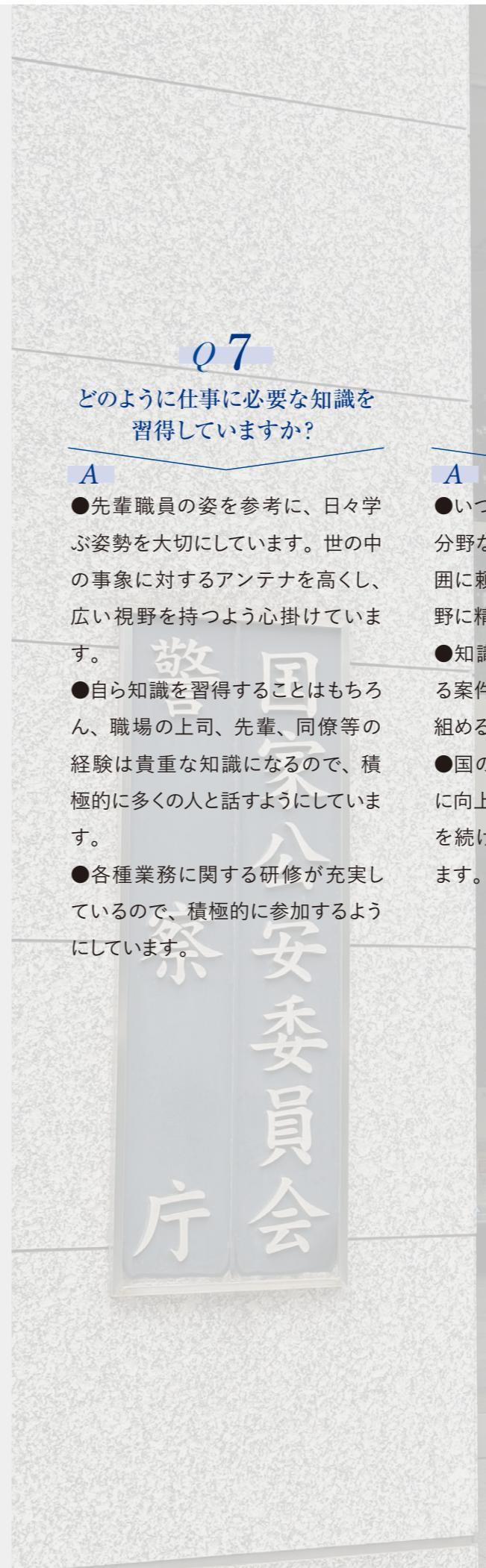
- いつまでも初心を忘れず、「この分野ならなんでも知っている」と周囲に頼っていただけるくらい専門分野に精通した職員になりたいです。
- 知識と経験を兼ね備え、あらゆる案件にバランス感覚を持って取り組める職員になりたいです。
- 国の安寧秩序の実現に向け、常に向上心を持ちながら、愚直に努力を続けることができる職員を目指します。

Q9

志望者へのメッセージ

A

- いつの時代も変わることのない警察の使命を果たすために、全国の仲間とともに働く唯一無二な仕事だと思います。同じ志を持つ皆さんと一緒に勤務できる日を心待ちにしています!
- 警察庁の仕事はやりがいや学びにあふれる仕事で、一生をかける価値のある仕事だと思います。また警察という組織自体、人同士の結びつきの強く、一生の仲間にも出会える素晴らしい組織だと思います。是非皆さんにお会いする楽しみに待っています!
- 「国民の当たり前の日常を守りたい」など、熱い思いをお持ちの方は、是非、警察庁の門をたたいてみてください。



採用 Q & A

Q1

警察庁警察官（スペシャリスト候補）はどの試験区分から採用されますか？

A 警察庁警察官（スペシャリスト候補）は、国家公務員採用一般職試験（大卒程度）の全区分から採用しています。技術系区分を受験予定の方も是非チャレンジしてみてください。

Q2

採用機関は警察庁本庁のみでしょうか？

A 警察庁警察官（スペシャリスト候補）の採用機関は、警察庁本庁のみです。各管区警察局等において、警察庁事務官の採用を行っておりますが、業務内容やキャリアステップ等が異なりますので、よく御確認ください。

Q3

受験地域は採用に影響しますか？関東甲信越地域で受験した方が有利でしょうか？

A 受験地域は選考に全く影響ありません。御自身の都合の良い地域で受験してください。

Q4

出身学部は採用に影響しますか？法学部出身者は有利でしょうか？

A 出身学部は選考に全く影響ありません。入庁後の研修で、法学等の業務で必要な知識を習得することができます。実際に、法学部以外の学部出身者（理系の学部を含む。）の職員も多数おりますので、御安心ください。

Q5

採用実績を教えてください。

A 例年10名程度を採用しており、近年、採用数は増加しています。

Q6

どのような人材を求めていますか？

A 警察庁警察官（スペシャリスト候補）が活躍するフィールドは非常に幅広く、業務の内容も多岐にわたります。このため、特定の能力の有無のみが重要になるというわけではありません。警察庁警察官として社会をより良くしたいという素朴な正義感と、チャレンジ精神を持っている方は、是非警察庁を志望してください。

皆さんにとって、「当たり前の日常」とは、どのような瞬間でしょうか。

- 毎日必ず訪れる朝
- 家族や友人と交わす何気ない挨拶
- 大切な誰かと笑い合える時間
人によって様々だと思います。

世の中には、犯罪や事故に巻き込まれ、こうした「当たり前の日常」を奪われた人がいます。今この瞬間も「当たり前の日常」を脅かされている人がいます。これは映画やドラマの世界ではなく、現実です。

警察は、この現実に向き合い、日々、理不尽や脅威に立ち向かっています。私たちの仕事は目立つことはなく、静かで揺るぎない挑戦ですが、その一つ一つが確かに、誰かの「当たり前の日常」を守り、この国の治安や秩序を支えています。

大切な人の「当たり前の日常」を守りたい。
未来の「当たり前の日常」を築いていきたい。
そんな思いがある方は、警察庁の門を叩いてみてください。
警察庁には、あなたとともに立ち向かう仲間がいます。

採用担当

